

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【他産業の参入】

1. 都道府県、市町村 愛媛県松前町^{まさきちょう}
2. 事業者名 有限会社 あぐり (金亀建設株式会社)
3. 取組みの名称 地域に根ざした循環型農業の展開と建設労働力の温存
4. 取組概要等

概要

金亀建設(株)は昭和32年より舗装工事を主体として活動してきたが縮小する建設市場下での社員の雇用確保(技能工の温存)のため農業に着目し、平成12年11月に金亀建設(株)の代表取締役西山周を代表者として農業生産法人(有)あぐりを設立した。

「あぐり」の常勤スタッフは金亀建設もしくは関連グループからの出向で派遣されている5人。さらに稲作の時期にあわせて、お米担当として6名~7名のスタッフが加わっている。また、この他、作集が忙しい時には、金亀建設もしくは関連グループから、その都度社員たちが派遣されてくる。

社員の雇用確保の発想からスタートしたあぐりの事業は、当初60アールから営農を開始し、1年後、高齢化した地域農家の方々より、農地を耕作・管理して欲しいとの要望もあり、農業委員会を通じての貸借契約を結んで耕作を行うようになり、5年を経過した現在では、当初の50倍の約30ヘクタールを耕作している。

あぐりでは、「無農薬・無化学肥料による循環型農業」の確立をめざし、地元の加工業者などから大量に捨てられる食品残渣を自社にて堆肥化(自社で改造したミキサ-車を利用し、攪拌・混合して製造)し、それを畑に還元。土づくりを基本にした有機無農薬栽培で安全でおいしい野菜や米を生産し、地域の消費者に提供し、地域の人たちに喜ばれる農業を展開しようと頑張っている。

主作物の稲作については、アイガモ栽培、紙マルチの利用による除草剤不使用の営農を推進。野菜においても化学農薬や化学肥料を使用しないで栽培・収穫している。

また、収穫された米や野菜は愛媛県の「愛媛県特別栽培農産物」の認定を受け、社内はもとより、認定作物として地元のレストラン、ホテル、スーパーへ直売をしている。

このほか、自社内で培養された有用微生物を循環浄化事業へ転用し、廃棄物の悪臭軽減や水質の改善などの事業にも取り組んでいる。

さらに無農薬栽培で収穫した作物から特定のエキスを抽出し利用する研究も行っている。

活動の規模

項目	H12	H13	H14	H15	H16
生産量	0.8	24	46	70	100
解説	米の収穫量 (t)				
売り上げ	1,400	10,000	15,000	24,000	50,000
解説	米と野菜(微量)の売り上げ H16は17年6月末日まで集計 (千円)				
雇用者数		5~20人	5~20人	5~20人	5~20人
解説	スタッフは金亀建設およびグループからの出向者				

活用している地域資源

- ・ **地域の食品残渣**(伊予市のカツオ節業者から仕入れる花カツオのくずと、松山市内の豆腐店のおから、精米所の米ぬか、籾殻等を自社培養の微生物を使って堆肥を作り、土づくりに利用している。
- ・ 高齢化した地域農家の方々より、農地を耕作・管理して欲しいとの要望があり、農業委員会を通じて貸借契約を結んで耕作を行っている。

地域活性化のポイント

食の安全性が叫ばれ始めている中で、**化学農薬や化学肥料を使用しないで、地域の食品残渣を活用して土づくりを行うことにより、「無農薬・無化学肥料による循環型農業」の確立を目指すとともに、耕作放棄の農地を借りることにより、担い手の減少傾向の強い地域の稲作兼業農家の新しい労働力として、あるいは新たな雇用の場を提供している。**

また、土づくりを基本にした無農薬・無化学肥料栽培により、安全でおいしい米や野菜を生産し、地域の消費者に提供することによって、地域の人たちに喜ばれる農業を展開したいと日々頑張っている。(良質で安心できる作物を市場に提供する)

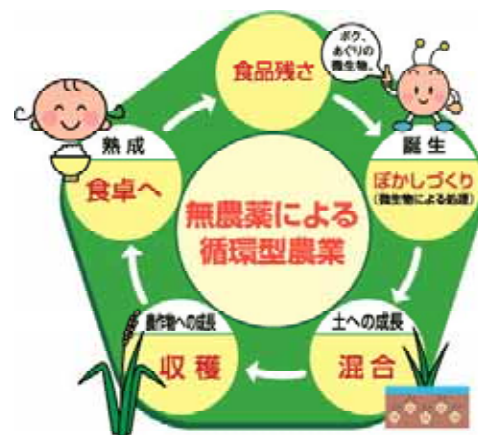
事業の今後の展開方向

営農での利益確保は当面早急にクリアしなければならない課題であるが、地域に貢献できる新たな農業の担い手として、**安心安全な地産池消の推進役となること。**

また、近い将来、農地での食物の栽培に止まることなく、**バイオマスの観点からも、稲わらやトウモロコシ、食品残渣、廃木材等の利用によるエタノール、アルコール、メタン等のエネルギーや堆肥の製造も目指し、食料・資源リサイクルに基づいた地域循環農業との連携を目指す。**



< 稲刈りの様子 >



< 地域循環農業イメージ >